

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 24 日作成)

小委員会名	シール材性能設計研究小委員会	主 査 名：山田 人司 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 防水工事運営委員会	委員長名：本橋 健司 主 査 名：堀 長生
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>シーリング材及びガスケットを使用した接合部の性能設計に必要な定量的な耐久性評価方法を提案し、評価方法の整備と評価結果の性能設計への適用方法を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11 年度：評価試験方法の試行とその結果の精査、耐久性評価試験の検討 ・ 12 年度：評価試験方法の基準化、性能設計への適用方法の検討と提案、シンポジウムの開催 ・ 13、14 年度：外壁目地防水の性能設計のガイドライン作成の検討と提案 	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査:山田人司 (安藤ハザマ)、幹事:添田智美 (フジタ)、委員:高橋愛枝 (大成建設)、岩田克博、伊藤彰彦、杉山茂樹、高橋明、(日本シーリング材工業会)、久住明 (カネカ)、佐々木哲也 (プレコンシステム協会)、川端芳英 (建築ガスケット工業会)、樋口豊 (カーテンウォール・防火開口部協会)、本郷雅也 (東日本シーリング工事業協同組合)、宮内博之 (韓国・忠南大学)、小野正 (三星物産)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 接着耐久性 WG (接着性評価方法の基準化) 2) 耐疲労性 WG (耐疲労性評価方法の基準化、性能設計への適用方法の検討) 3) ガスケット WG (ガスケット耐久性評価方法の基準化) 	
2013 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価試験方法の基準化と性能設計への適用方法の提案 2. 外壁目地防水の性能設計のガイドライン作成の検討 3. 2013 年建築学会大会 5 編投稿 <p style="text-align: right;">以上、当初目標を達成</p>
委員会活動の問題点・課題	1. 外壁目地防水の性能設計手法の公開方法が検討課題

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。